

フォト句会 22年10月度成績

開催日：10月11日(火)

時 間：15時30分～17時30分

場 所：渋谷区地域交流センター
代々木の杜

出席者：7名＋投句2名

写真出題：大 越

お題写真

五能線木造駅と土偶



付け句 出題：大越（五能線木造駅と土偶）

- 1) 時空超え縄文行きの始発駅 中村晃也
はるか昔にワープする高揚感が伝わってくる句だ。
- 2) 過疎の街これで何とか起爆剤 矢澤正二
苦心の町起しの取り組みが軌道に乗ってきた喜び。
- 3) 廃線や巨大土偶に秋の風 大越浩平
五能線に廃線の噂が流れ、土偶の表情にも寂しさが…。
- 4) この像で路客を集める田舎駅 下山健夫
思い切って大きな土偶を作った効果があったようだ。
- 5) 遮光器や縄文女性の伊達メガネ 松田昌康
土偶が目付けている「遮光器」は当時のおしゃれだった？

涼風を
誘い出したる
四度の滝（晃也）



空と海 丘の草にも秋の色(昌康)





出世レース
厳しそうだな
この会社（進一郎）



季の移ろい そっと知らせる楓かな
(晃二)

寸 評:

- 1) 涼風を誘い出したる四度の滝 中村晃也
見事な紅葉と水の流れを最高のアングルで捉えた。
- 2) 空と海 丘の草にも秋の色 松田昌康
シンプルな構図と配色で強く訴える作品となった。
- 3) 出世レース厳しそうだなこの会社 長尾進一郎
社屋の壁を這い上がる草に出世レースを連想した。
- 4) 季の移ろいそっと知らせる楓かな 安藤晃二
気品のある写真と句で季節の変わり目を表現した。